

～一人ひとりを真ん中に、^{えにし}縁がつどうあったかなまち～

那珂市の



No.111 令和2年
12月11日発行

那 珂 市 社 会 福 祉 協 議 会

こどもの笑顔が何よりの喜びです



「那珂市おもちゃ病院ドクターのみなさん」詳しくは8ページをご覧ください

目次

令和2年度社協会費受付状況……………	2	社協インフォメーション……………	6
自動販売機で気軽にできる社会貢献活動を始めませんか…	2	善意銀行からのご報告……………	7
コロナ禍における		あん・しん・ねつと事業	
災害ボランティアとつながりづくり……………	3	～あなたの気づきが安心して暮らせる力になります～ …	7
茨城県社会福祉大会表彰者のご報告……………	3	ふれあい・いきいきサロン……………	8
暮らしの困りごとから地域づくりまで社会福祉		「きすなBOX」で食品寄付を受け付けています ……	8
協議会にご相談ください……………	4・5		

令和2年度社協会費受付状況 (令和2年10月1日現在)

那珂市社会福祉協議会会費にご協力ありがとうございます。

みなさまからお寄せいただきました会費は、社協活動の貴重な財源として地域福祉活動推進のため、大切に活用させていただきます。

今後とも、会費の趣旨をご理解いただき、社協の活動にご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、会費は年間を通じ、社協窓口でお受けしております。

一般・特別会費 5,961,450 円

地区	一般会員 (世帯)	特別会員 (人)	会費実績 (円)
神崎地区	1,156	0	578,000
額田地区	869	4	438,500
菅谷地区	3,226	14	1,627,450
五台地区	2,008	11	1,015,000
戸多地区	524	0	262,000
芳野地区	1,108	1	555,000
木崎地区	623	26	347,500
瓜連地区	2,170	38	1,138,000
合計	11,684	94	5,961,450

会費は、地域のみまもり活動を支援するあん・しん・ねっと事業やボランティアの育成や支援、ふれあい・いきいきサロンの活動支援などに活用させていただいております。

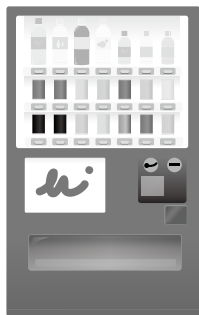
自動販売機で気軽にできる 社会貢献活動を始めませんか

寄付つき赤い羽根自動販売機とは？

ジュースやお茶などの飲み物を買うたびに、一定額が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機のことです。お釣りの一部を寄付できる自動販売機もあります。

自動販売機を設置する人、飲料メーカー、購入者のだれもが寄付者となる新しい寄付のかたちです。

既設置の自動販売機メーカーとの契約変更により、赤い羽根自動販売機に変更することもできます。



◆詳しくは茨城県共同募金会
ホームページをご覧ください
<http://www.akaihane-ibaraki.jp/>



Q どんな場所に設置できますか？
個人でも設置できますか？

A およそ1㎡のスペースがあれば、企業でも個人でも設置ができます。設置希望スペースに応じたさまざまな機種が選べます。

Q 設置した後の費用はどれくらいかかりますか？

A 毎月の電気代 (2,000 ~ 3,000 円程度) を設置者に負担いただきます。代わりに、設置者には売上げの20%程度が手数料として支払われます。

Q 販売業者によって、設置条件が異なりますか？

A 販売業者によって、取扱商品が異なるほか、販売手数料の割合や寄付の方法・割合が異なります。

コロナ禍における災害ボランティアとつながりづくり



講師の米澤智秀氏

関わっている「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」の委員である米澤智秀さんから、現地での活動を中心に講話をいただきました。

コロナ禍で県外からボランティアを受け入れることができない状況下では、地元住民の助け合いがより重要になっています。そのため、限られた数のボランティアが参加しやすい工夫として、活動時間を1時間・2時間単位に細かく区切ること、幅広い世代のボランティア参加が得られたという事例を紹介してくださいました。

研修後半の意見交換では、災害ゴミが話題になった際、「汚れてしまった家財などは、災害ゴミとしてすぐに捨ててしまいがちだが、依頼者にとってかけがえのない宝物かもしれないので、丁寧な確認が必要だ」との意見が出されました。一方で、「大勢のボランティアが何度も確認を行うと、ますます依頼者を疲弊させてしまう心配もある」という意見もあげられ、同じ作業であっても、異なる意見がみられました。また、コロナ禍における災害ボランティア活動の質問に講師から「災害ボランティアだけに頼るのではなく、さまざまな組織・団体の力を活かし、地域全てが一体となって取り組まなければ、復旧・復興が遅れてしまう。これまでの常識をあたりまえとしない柔軟な発想が必要だ」とアドバイスをいただきました。

今回の研修を通じて、コロナ禍においては特に市内における災害ボランティアだけでなく、多様な活動人材及びそのネットワークが重要であることがわかりました。社協では、これまで積み上げてきた災害ボランティアに関するノウハウを活かしながら、災害ボランティアやさまざまな団体とのネットワークをさらに強化し、コロナ禍でも停滞しない被災者支援が行えるよう準備を進めて参ります。

令和2年9月24日(木)、「那珂市災害時ボランティア実践者研修」を開催しました。今回の研修は、令和元年台風19号で被災した下江戸地区や近隣市町村でボランティア活動をしたかたを中心に参加を募り、昨年の災害ボランティア活動の振り返りと、コロナ禍におけるボランティア活動のあり方について研修を行いました。夜間の開催にもかかわらず14名の参加があったほか、先崎市長も参加してくださいました。

研修の前半は、令和2年7月豪雨により被害を受けた熊本県の災害ボランティアセンターの支援に携



発言する先崎光市長



参加者どうしの意見交換

問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309

茨城県社会福祉大会表彰者のご報告

那珂市からは、社会福祉に功績のあった次のかたが表彰されましたのでご報告いたします。

茨城県知事表彰(敬称略)

○多年にわたり社会福祉関係の職にあり地域福祉増進に貢献されたかた

- ・阿部 和恵 (若草園)
- ・綱川 貴世 (若草園)
- ・白石 智和 (ゆたか園)
- ・清宮 力 (デイサービスセンターひまわり荘)
- ・広木 健 (ナザレ園)
- ・松井 祐介 (ナザレ園)
- ・伊東 孝治 (ナザレ園)
- ・浅川 真弓 (那珂市社協)
- ・岡田眞理子 (那珂市社協)
- ・澤井 歩実 (那珂市社協)

茨城県社会福祉協議会長表彰(敬称略)

○多年にわたり社会福祉関係の職にあり地域福祉増進に貢献されたかた

- ・吉野 四郎 (鴻巣)
 - ・若月紀代美 (盲老人ホームナザレ園)
 - ・小林恵理子 (ゆたか園)
 - ・大槻 和子 (ナザレ園)
 - ・上田めぐみ (ナザレ園)
 - ・寺門 一也 (ナザレ園)
- 多年にわたりボランティアとして地域福祉の増進に貢献されたかた
- ・茅根 正光 (横堀)
 - ・かがくのたまご・サポーターズ

※「第70回茨城県社会福祉大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

暮らしの困りごとから地域づくりまで 社会福祉協議会にご相談ください

暮らしの中の **困** りごとについて相談したい

生活が苦しい

失業、就職ができないなどのご相談

困窮や就労についての相談 **菅谷**

仕事が見つからない、生活に困っている、家賃が払えないなど生活の問題を抱えているかたの相談を受け付けます。専門の支援員が困りごとと一緒に考え解決へのお手伝いをします。

一人ひとりの状況に応じて就労支援などの必要な支援を関係機関と連携して行います。

自立相談サポートセンター

福祉資金の貸付に関する相談 **瓜連**

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などに対して、資金の貸し付けと相談支援を行うことで、世帯の経済的自立及び生活意欲の向上並びに社会参加への促進を支援します。

総務・地域福祉グループ



障がい者の暮らしに関する相談

障がい者の暮らしやサービスに関する相談 **瓜連**

障がい者に関わる制度や、福祉サービスに関する相談について、関係機関と連携して各種相談を受け付けたり、情報提供を行います。

障害者基幹相談支援センター

障がい者の虐待に関する相談 **菅谷**

障がい者のかたが、たたかれる、悪口を言われる、自分の年金や賃金をもらえない、無理やり体を触られる、食事をもらえないなど虐待を受けている可能性があるなどの相談を受け付け、改善できるよう支援します。

障害者虐待防止センター

専用電話 24時間365日 229-0952

障がい者の差別に関する相談 **菅谷**

障がい者のかたや家族からの障がいを理由とした差別に関する相談を受け付け、一緒に考え支援します。

障がい者差別解消相談室

ご家庭や地域生活の中での困りごとの相談

どこに相談していいかわからないことに関する相談（福祉総合相談） **菅谷**

ご家庭や地域で生活するなかでおこる、さまざまな困りごとや悩みについて、一緒に考えます。お話をうかがい、解決のための制度や手続きなどをご紹介しますほか、内容により適切な機関におつなぎすることもあります。

ふくし相談センター

社会参加や地域づくりについて相談したい

居場所づくりなど 社会参加や場づくりについて知りたい

居場所づくり、参加に関する相談 瓜連

【居場所づくり】

居場所は地域や年齢に関係なく、関心や目的に賛同したかたが集う場です。共通の悩みを抱えるかたへ安全な環境を提供する場、対象を定めず自由なアイデアで活動する場など、身近な場所に居場所を増やすお手伝いをします。

【ふれあい・いきいきサロン】

高齢者が集まって体操教室を開いたり、子育て中のお母さんが集まってお茶会を開いたりするサロン活動を通じて、住民のみなさまの生きがいがづくりや仲間づくりをお手伝いします。

総務・地域福祉グループ

ふくしについて学びたい ボランティアをしたい・してほしい

ボランティア・福祉教育に関する相談 瓜連

ボランティアをしたいかた・必要としているかたを、コーディネーターが仲介し、希望に沿った活動ができるようサポートします。地域からのニーズが高いボランティア活動については、基礎的な知識・技術を習得してから活動に移れるように養成講座を開催しています。

また、「夏のボランティア体験」や「福祉体験学習」を通じて、学生などが「ふくし」について学ぶきっかけづくりをしています。

総務・地域福祉グループ



いつまでも安心して暮らせる地域づくりを進めたい

みまもり、地域づくりに関する相談 瓜連

【身近な暮らしの出前講座】

健康・楽しみ・学びに関する70以上の講座を、住民のみなさまのご要望に応じて提供しています。5人以上のグループやお仲間をご利用ください。また、講師として登録して下さるかたも随時募集しています。

【イベント物品の貸し出し】

住民どうしの交流の促進を目的に、わたがし機やテントなどのイベント用品を無料で貸し出しています。自治会や子ども会のお祭りなど、地域行事の際にご活用ください。

【住民どうしの話し合いのお手伝い】

ワークショップ（グループに分かれての意見交換）やクロスロードゲーム（ゲーム方式の災害時対応）などのプログラムを通じて、住民どうしが地域について話し合う場づくりをお手伝いします。

【みまもりネットワーク（あん・しん・ねっと）】

高齢、障がい、病気などにより支援を必要とするかたに対して、住民主体によるみまもりのネットワークを構築し、地域での生活を安心して続けられるようにお手伝いします。

総務・地域福祉グループ



問い合わせ窓口

瓜連

那珂市社会福祉協議会事務局

那珂市瓜連321市役所瓜連支所分庁舎

電話 029-229-0309

菅谷

那珂市社会福祉協議会菅谷分室

那珂市菅谷3198市総合保健福祉センターひだまり内

電話 029-298-8881

受付時間 平日 午前8時30分から午後5時15分

社協インフォメーション *information*

ふくし相談センター

ご本人やご家族、地域などのことで「どこに相談したらよいのかわからない」と思ったら、お気軽にご相談ください。専門の相談員と一緒に考えながら、解決へのお手伝いをします。

- 場 所 市総合保健福祉センターひだまり 菅谷分室
- 受付時間 午前8時30分から午後5時15分 ●受付方法 電話、FAX、面談（訪問も可）、メール
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881 FAX 298-8890
Email f-soudan@naka-shakyo.net

◆「ふくし相談センター」は、包括的支援体制整備事業・自立相談サポートセンター・障害者虐待防止センター・障がい者差別解消相談室等の複数の窓口を統合して運営しています。

障がい者の暮らしの相談 障がい者の日常生活の相談に応じます（要予約）※1

家族関係・人間関係の悩み、生活の工夫、困りごとに、相談員（障がい当事者及び当事者の親）が、相談に応じます。

- 問い合わせ 障がい・介護支援グループ 229-0309 FAX 296-1002

あがっぺほっとサロン※2

こどもの不登校やひきこもりで悩むご家族が、悩みを置いていける場所『あがっぺほっとサロン』
「ずっと仕事をしていない（学校へ行っていない）」「家からほとんど出ない」など、同じ悩みや子育て経験があるかた同士でちょっと話してみませんか（聞くだけでもOKです）

- 日 時 原則毎月第2火曜日 午前10時30分から午後0時 途中入退室可
- 場 所 瓜連駅から徒歩1分のカフェ 駐車場有
- 参加方法 申込不要 参加費無料 飲み物代ひとり200円～
- 問い合わせ 社会福祉協議会 菅谷分室 298-8881



那珂市おもちゃ病院 大切なおもちゃを直します※3

那珂市おもちゃ病院では、ボランティア活動としてお子様のおもちゃを無料で修理しています。修理の受付は活動日のみです。（※ゲーム機やアンティークおもちゃなど修理を受付できないものがあります）

- 活動予定日 1月14日・28日、2月4日・25日、3月11日・25日
（午後1時30分から午後3時30分）
- 会 場 市総合保健福祉センターひだまり 高齢者福祉センター会議室等
- 問い合わせ 総務・地域福祉グループ 229-0309



※1・2・3については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になる可能性があります。お手数でも事前にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

ショートステイ・日中一時支援

社会福祉法人 実誠会

障害者支援施設なるみ園 農産物直売所サンファームなるみ

理事長 仲田 実

那珂市飯田 2529-1 ☎ 029-295-9100

社協ホームページをリニューアルしました

社協ホームページを大幅リニューアルいたしました。パソコン、タブレット、スマートフォンそれぞれに対応し、どなたでも情報にアクセスしやすいようになりました。



URL <http://www.naka-shakyo.net/>



善意銀行からのご報告

令和2年9月3日から令和2年11月17日現在

みなさまの善意に感謝します。

■ 善意銀行とは…

みなさまからお預かりしたあたたかいお気持ち(お金や物品)を社会福祉のために活用させていただくための窓口です。

現金

預託者 (敬称略)	金額 (円)
預託者 () は指定先、それ以外は那珂市社会福祉協議会	
野木 利三郎	30,000 円
匿名	200,000 円
鈴木 昌子	10,000 円

物品

- **書き損じハガキ・切手・テレカ**
(届け先 切手・テレカボランティアポピー)
山田道俊 菅谷第二高砂会 谷田部薫 篠原晃重 鈴木昌子
勝井明憲 佐藤健治 (株)キウチ建設 愛のグループすずらん会 匿名3件
- **おしりふき布 (届け先 市内施設・利用者等)**
野木利三郎 海野みさ子 愛のグループすずらん会 匿名1件
- **タオル・ぞうきん等 (届け先 市内施設)**
野木利三郎 船橋淳宏 菅原久美子
明治安田生命保険相互会社 水戸支社 那珂営業所 匿名1件
- **マスク**
松田正紀 明治安田生命保険相互会社 水戸支社 那珂営業所

「雑巾」や「おしりふき布」になる生地を集めています

集まったタオル・生地は、市内にお住まいの野木利三郎さんが一つ一つ丁寧に雑巾やおしりふき布に加工してくれています。雑巾やおしりふき布は、市内の福祉施設や病院で、アルコール消毒時などに活躍します。不要になったタオルや生地がございましたら、寄付にご協力ください。

◆ 生地为例 ◆

白色または白っぽい色の綿素材のタオル、シーツ、布団カバー、肌着、Tシャツ



問い合わせ

総務・地域福祉グループ 229-0309

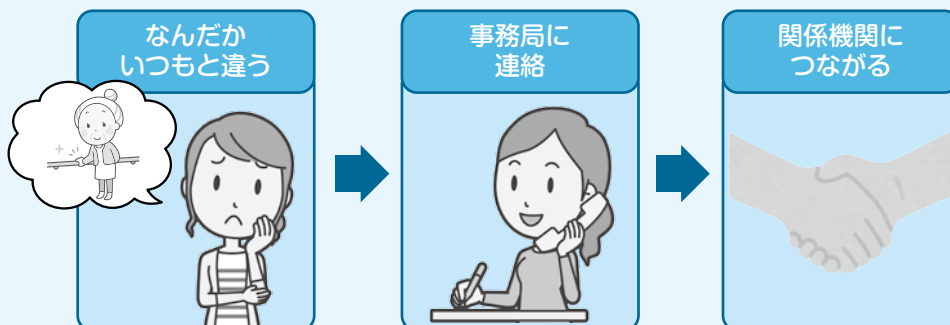
那珂市社協は、所得税額から一定の金額を控除できる税額控除対象法人です。社会福祉協議会に寄付された個人のかたは、税制上の優遇措置が受けられます。

「あん・しん・ねっと事業」～あなたの気づきが安心して暮らせる力になります～

「みまもり活動」であんしんできる暮らしへ

「あん・しん・ねっと」とは、今あるご近所同士のつながりを登録していただくことにより、支援を必要とするかたを地域の助け合いと関係機関のネットワークで見守り、関係機関につなぐことで、安心して暮らせるようお手伝いをする事業です。

「みまもり活動」をしているなかで、いつもと違う様子が見られたり、心配に感じるがあった時に、事務局にご連絡くださることで、早い対応ができることとなります。



この事業は、災害発生時に安否確認を行う市の「避難行動要支援者支援制度」と連携しています。

問い合わせ
総務・地域福祉グループ
229-0309



ご近所の活動拝見

～あったかはおとをみんなの手で～ 第58回 ふれあい・いきいきサロン 『ほほえみ』



今回は瓜連地区の「ほほえみ」をご紹介します。以前は「サロン春日会」として活動していましたが、令和元年9月からは地元の瓜連上自治会が運営を引き継ぐことになり、名称を「ほほえみ」に変更しました。その由来について、自治会長とサロン代表を兼任されている古目谷さんに伺うと「ひらがなで呼びやすく、親しみやすい言葉が良いと思い、副自治会長と話し合っ決めて決まりました」と教えてくれました。

「ほほえみ」ではシルバーリハビリ体操をメインに活動しています。取材した日は、新型コロナウイルス感染予防のための自粛期間を経て、およそ7か月ぶりの再開日でした。体操の動きを忘れてしまったかたや、思うように身体が動かないかたもいて、お互いに笑い合う姿が見られましたが、指導士から自宅でも実践しやすい体操を教わると「健康維持のため、おうちでも継続していくことが大事だね」との意見が聞かれました。

古目谷さんは「みなさんの体調がずっと気がかりだったので、元気な姿を見られて安心しました。自粛期間があったことで、外に出て人と話すことの大事さが改めてわかったので、感染症予防に十分留意しながら、楽しくサロンを続けていきます」と話してくださいました。

- 名称 「ほほえみ」
- 日時 第2・4金曜日 9時30分から10時30分
- 会場 総合センターらぼーる
- 活動 シルバーリハビリ体操
- 会員 25人（男性1人、女性24人）70～80代
- 会費 なし

代表の古目谷さんからの一言

瓜連地区にお住いでしたら、自治会以外のかたでも入会をお受けします。特に男性のかたが増えると嬉しいです。会員同士がとても仲の良いサロンですので、ぜひ一緒に活動しましょう。

いきいきサロンに興味・関心のあるかた、「やってみようかな」とお思いのかた、那珂市社協までご連絡ください。

『きずなBOX』で食品寄付を受け付けています

- ・きずなBOXは食品を寄付することのできる食品収集箱です
- ・未開封で常温保存可能な食品（賞味期限2か月以上）をお預かりしています
- ・寄付された食品は生活にお困りのかたや県内の福祉施設等へ配布しております

食品例

主食となる食品
(お米、保存米、インスタント麺、乾麺など)

すぐ食べられる食品
(レトルト食品、魚缶、佃煮、魚肉ソーセージなど)

編集委員		
委員長	吉野	四郎
副委員長	大和田	祝子
委員	小澤	祐一

表紙の紹介

那珂市おもちゃ病院では、ボランティアのおもちゃドクターが無料でおもちゃを修理しています。おもちゃが直ることも楽しみですが、直ったおもちゃを笑顔で受け取ってくれる「子どもの笑顔」が何よりの喜びです。

おもちゃ病院開設日は、6ページをご覧ください。

- **きずなBOX設置場所**
- ・那珂市社会福祉協議会事務局（市役所瓜連支所分庁舎内）
- ・市総合保健福祉センター ひだまりロビー
- ・那珂市役所 総合案内前
- **問い合わせ 総務・地域福祉グループ**
229-0309

